

第 18 区

定数 12 名 候補者 12 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 吉井 真美 2. 1979/3/18
3. 大阪公立大学 消化器外科
4. 2004 年大阪市立大学医学部を卒業後、初期臨床研修を経て、大阪市立大学腫瘍外科学に入学。2013 年に学位取得、2019 年より大阪市立大学消化器外科学の病院講師、2023 年から講師として現在に至る。
5. 外科学研究の推進、外科治療成績の向上に努め、また、若手外科医、特に外科卒後教育の充実を図ることにより、日本外科学会の発展のため努力する所存であります。
6. 新任

1. 柴田 利彦 2. 1960/2/4
3. 大阪公立大学 心臓血管外科
4. 1985 年 大阪市立大学医学部卒
2008 年 大阪市立総合医療センター心臓血管外科 部長
2015 年 大阪市立大学 心臓血管外科学 教授
2022 年 大阪公立大学 心臓血管外科学 教授
5. 心臓血管外科のみならず、外科学全体における人材確保および専門医教育に注力し、とくに低侵襲手術の安全性を担保した発展のため努力する所存です。
6. 現職

1. 柏木伸一郎 2. 1971/11/20
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学
4. 2002 年 3 月 埼玉医科大学卒業
2015 年 4 月 大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学 講師
2023 年 1 月 大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学 准教授
2023 年 10 月 同 教授
5. 若手外科医に対する卒後教育の充実、外科学研究の推進、そして治療成績の向上を通じて日本外科学会の発展のために真摯に努力する所存です。
6. 新任

1. 前田 清 2. 1962/12/12
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学
4. 1987 年大阪市立大学医学部卒
2003 年大阪市立大学腫瘍外科講師
2010 年大阪市立大学消化器外科准教授
2018 年大阪市立総合医療センター消化器外科部長
2022 年大阪公立大学消化器外科教授
5. ロボット手術や集学的治療、Navigation 手術など、先進的治療の研究を推進し、安全性も含めた治療成績の向上に努めます。さらに働き方改革、外科教育充実を通じて外科学会の発展のために尽力する所存です。
6. 現職

1. 溝端 康光 2. 1960/12/6
3. 大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学
4. S60 年大阪市立大卒、大阪大学医学部附属病院特殊救急部・国立水戸病院外科研修医、松戸市立病院救急部医員、大阪大学救急医学研究生、ハーバード大学研究員、大阪府泉州救命救急センター副所長、H17 年より現職
5. 専攻は外傷・救急外科学。邦文誌編集委員会、専門医制度委員会外傷小委員会、同外傷外科医養成研修実施委員会、専門医認定委員会の委員を務めている。Acute Care Surgery の発展に力を尽くしたい。
6. 現職

1. 大植 雅之 2. 1961/1/31
3. 大阪国際がんセンター
4. 昭和 62 年大阪大学医学部卒、箕面市立病院、関西労災病院、東京都立駒込病院、大阪大学附属病院等を経て平成 16 年より大阪府立成人病センター（現 大阪国際がんセンター）消化器外科、令和 5 年病院長。
5. 大阪国際がんセンターの理念である“患者の視点に立脚した高度ながん医療の提供と開発”に則り、消化器外科、ひいては広く外科の発展に貢献する所存です。よろしくご願ひ申し上げます。
6. 現職

1. 石沢 武彰 2. 1973/5/7
3. 公立大学法人大阪 大阪公立大学 大学院医学研究科 肝胆膵外科学
4. 2000年 千葉大学医学部 卒業
2009年 東京大学大学院 医学研究科 修了 博士(医学)
がん研究会有明病院 副医長, 東京大学肝胆膵外科 講師などを経て, 2022年から大阪公立大学肝胆膵外科 教授
5. 低侵襲手術や蛍光ガイド手術に関する臨床・研究・教育の経験に基づき, 外科学のさらなる発展と人材育成に邁進します。男女共同参画と国際交流の推進にも力を尽くす所存です。
6. 新任

1. 平尾 素宏 2. 1963/8/16
3. 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
4. 平成元年 大阪大学医学部卒
平成2年 公立学校共済組合近畿中央病院
平成8年 大阪大学消化器外科 医学博士学位取得
平成9年 Pittsburg 大学
平成12年 国立大阪病院 NHO 大阪医療センター外科
5. 若手外科医の育成,そして本邦の消化器外科の発展に貢献したい
6. 現職

1. 寺嶋 宏明 2. 1960/11/15
3. 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 消化器外科
4. 1986年京都大学卒業, 1996年京都大学大学院博士課程修了, 1997年独ミュンヘン大学留学(2年).
京都大学第2外科・神戸市立中央市民病院・福井赤十字病院を経て2008年より現勤務先. 副院長
5. 外科医が直面している多くの課題(低侵襲手術の普及, 医師働き方改革, 若手外科医教育, 地域医療連携, 医療DXなど)に積極的に取り組み, 日本外科学会の進歩と発展に尽力する所存であります。
6. 現職

1. 水島 恒和 2. 1966/9/19
3. 社会医療法人警和会大阪警察病院
4. 1992年大阪大学卒業, 第一外科入局. 2004年大阪大学大学院修了. 2008年大阪大学消化器外科帰学, 2015年より炎症性腸疾患治療学寄附講座教授, 2021年大阪警察病院副院長に就任, 現在に至る
5. 日本外科学会では, NCD 連絡委員, 英文誌編集委員, 専門医制度委員などを務めてまいりました。これまでの経験を活かし, 専門医制度やNCD登録を通じて学会と会員の先生方に貢献していきたいと考えております。
6. 現職

1. 中内 千暁 2. 1978/9/1
3. 医誠会国際総合病院
4. H17.3 大阪大学医学部医学科卒業
H18.4-H23.3 JCHO 大阪病院 乳腺内分泌外科
H23.4-H27.3 大阪大学医学部大学院
R5.10-現職 医誠会国際総合病院 乳腺外科 主任部長
5. 日本外科学会の女性参画拡大の試みに沿えるよう, 頑張ります
6. 新任

1. 岩瀬 和裕 2. 1958/3/5
3. 大阪急性期・総合医療センター
4. 1982年大阪大学卒. 消化器外科. 大阪大学, 大阪警察病院, 大阪府立病院, 社会保険紀南総合病院, テキサス大学ガルベストン校, りんくう総合医療センター市立泉佐野病院, 等を経て2007年より現勤務先.
5. 市中医療現場, とりわけ医育機関ではない医療機関における, 外科ならびに外科以外の診療実態からの視点として, お役に立てればと考えます。浅学非才ながら努力させていただきます。
6. 現職